

ウェルビーイングは測ることができるか?③ 世界幸福度報告

日本人は「つながり」不足?

世界幸福度報告 (The World Happiness Report) は、国連が設立した「持続可能な開発ソリューションネットワーク」(Sustainable Development Solutions Network: SDSN) が毎年3月20日頃発表しており、2022年は10回目でした。

150超の国々をハピネス、ウェルビーイングの観点で調査・分析し、ランキング付けしていることから、毎年注目を集めています。

0~10の11段階による幸福度 = 主観的な人生への評価 (vol.16参照) での順位は、北欧が上位を占めており、日本は6.039で54位でした。

さらに、この報告では各国の幸福度の違いを説明するため、①一人あたりGDP、②社会的支援、③健康寿命、④人生の選択自由度、⑤寛容性、⑥腐敗認識 (政府等への信頼度) の6項目を要素とし、寄与度を分析しています。

国により、文化や価値観の違いはあるものの、日本は、この中で②社会的支援、④人生の選択自由度、⑤寛容性が他国に比べ低い状況です。どれも人と人とのつながり、良好な人間関係に基づくものですね。

ランキングだけでなく、こうした分析結果も、ウェルビーイング向上のヒントとして意識していく必要があると考えています。

日本 6.039 (54位/146か国・地域) ※2019~2021の平均値で算出
前回5.940 (56位/149か国・地域)

説明要素 ①一人あたりGDP ②社会的支援 ③健康寿命
④人生の選択自由度 ⑤寛容性 ⑥腐敗認識 (政府等への信頼度)
ほか残差など

説明要素をランキング上位3国と比べると・・・ ※↓主観的人生評価への寄与を数値で説明

順位	幸福度	①	②	③	④	⑤	⑥
54	日本	6.039	1.835	1.089	0.866	0.537	0.218
1	フィンランド	7.821	1.892	1.258	0.775	0.736	0.534
2	デンマーク	7.636	1.953	1.243	0.777	0.719	0.532
3	アイスランド	7.557	1.936	1.320	0.803	0.718	0.191

なお、日本が比較的低い②④⑤は次の国際的な調査結果がベースになっています。

- ②社会的支援…困ったときに、いつでも助けてくれる親戚や友人がいるか
- ④人生の選択自由度…人生で何をするかを選択への自由度に対して満足しているか
- ⑤寛容性…この1か月に慈善活動へ寄附をしたか



もちろんこの結果で全てを捉えられるわけではないけど、「人と人のつながり」はもっと大事にしていきたいですね。



ちなみに、なぜ公表は、毎年3月20日頃?

3月20日は、国連が定めた**国際幸福デー** (International Day of Happiness) からです。知っていましたか?

